

科目番号	54002	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年	1
科目名	コミュニティアセスメント論 (Lecture in Community Health Assessment)						1
							配当セスター
							前期
担当者	○駒田真由子			区分	必修	単位	1
						時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連	
【概要・目標】 保健師活動に必要とされる地域住民の健康状態、生活状況、住民の認識、環境に関する潜在的・顕在的なニーズを把握するための情報収集の方法、アセスメント・分析、課題の明確化と課題解決の方法など一連の地域診断の基本および方法を学ぶ。						○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
						○	2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
						○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
						○	4.政策や保健事業を開発する能力
							5.災害対応や復興・再興感染症への危機管理能力
							6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
第1回	コミュニティアセスメントの目的とツール						駒田
第2回	コミュニティアセスメントのプロセス						
第3回	コミュニティアセスメントのためのデータ収集と分析方法 ①						
第4回	コミュニティアセスメントのためのデータ収集と分析方法 ②						
第5回	Community as Partner の理論的基礎・						
第6回	Community as Partner のプロセス						
第7回	Community as Partner の実例 ①						
第8回	Community as Partner の実例 ②						
事前・事後学習	事前学習：必携図書における各回の該当箇所を読んでから講義にのぞむこと。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。						
評価の方法	授業への参加度 30%、レポート 70%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。						
参考図書・資料等	©Elizabeth T. Anderson, Judith McFarlane 編 金川克子, 早川和生 監訳 コミュニティア ズパートナー第2版 地域看護学の理論と実際 医学書院						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						